

ひょう害対策のチェックリスト

露地野菜

【事前対策】

内容	チェック欄	備考
苗床等小面積の畑であれば、上面に寒冷紗等を浮きがけする。		
収穫期の葉菜類、果菜類は事前に収穫する。		
低気圧が発達するときには降ひょうがあるので、風雨の対策も講じる。積乱雲に伴う雷注意報が出されているときにおこる。		排水対策、強風に対する対策も併せて講ずる。

【事後対策】

内容	チェック欄	備考
被害程度を速やかに把握し、今後の対応を判断する。		
回復を図るため、作物に水をかける。		凍害が予想される場合。春から夏にかけての時期でも、降雹の量が多い場合は気温の低下が著しく窪地などに雹が流れ込み、冷気が溜まりやすいので、積極的に雹を溶かした方がよい。
被害部分の除去を行い、殺菌剤を散布する。		回復を図る場合。
液肥の葉面散布、摘花・摘果等により、草勢の回復を図る。		回復を図る場合。
まき直し、植え直しを行う。		作物被害が激しい場合。

※ 作業中及び見回り時に事故に遭わないよう十分に注意し、安全を確認の上、ほ場や施設の管理を行ってください。